RNR
Rail & Nature Report
2020.5.28　No.262
鉄道と自然を愛する人たちに贈るささやかなメッセージ　From いわて・おおふなと　by 松本一樹

芽吹きの五葉山で赤坂コース登山道を整備

手際よく土嚢を作る

土嚢を並べて流水を誘導する仕組み

小さなフデリンドウ

オオバキスミレ

5 月 26 日（火）、五葉山登山道整備のボランティア活動に参加しました。

赤坂峠に 9 時に集合、4 合目の畳石までの登山道に敷設された古い土嚢を更新するのが今回の主なテーマです。張り切って持参したチェーンソーの出番はなく軽トラックの荷台でお留守番です。自然保護監理員の鈴木さんの指示で 2 班に分かれ、大船渡市の担当課が用意したスコップや唐鍬、土嚢袋などを分担して出発しました。

私は後発組に入り、五葉山自然倶楽部の 5 人と大船渡市の職員のチームで出発点から作業開始です。

登山道は、流れる雨水で掘れてしまわないように流水を逃す「水切り」と呼ばれる斜めのラインを入れる構造になっていますが、その土止めの役割をする土嚢が朽ちていて、新しい土嚢袋にすっぽり入れて更新したり新しく小石や土を入れて作り補強していきます。道の段差が大きいところにも歩行を助けるために置いていきました。

この日の参加者は約 40 人、行政関係だけでなく、釜石や大船渡の登山愛好者が大勢集まりました。一昨年から取り組んだ避難小屋「石楠花荘」の改築支援から続いているボランティアの態勢が整い、様々な作業の呼びかけに応じてくれる人が増えて、本当に心強い限りです。

山は峠から上が芽吹きの時期を迎え、例年であれば、ツツジが咲き始めているのですが、今年はなんとなく花芽が少ないような印象でした。足元には小さなフデリンドウやタチツボスミレ、黄色が印象的なミツバツチグリなどが咲き、畳石に近づくとオオバキスミレが迎えてくれました。

参加者が多かったので予定した作業は正午前に終了し、畳石で昼食休憩の後、現地で解散となりました。麓は少し暑い陽気でしたが、さわやかな山上で作業ができ、軽やかな気持ちで下山しました。　　どんとはれ。

配信希望者は ayashin@aioros.ocn.ne.jp へ　6 月より遠征撮影に復帰予定！乞うご期待